

立科町地域公共交通に関する アンケート結果報告書

- ・たてしなスマイル交通等バス利用者アンケート調査結果
- ・定額タクシーチケット利用者アンケート調査結果
- ・シラカバ線シャトル便利用者アンケート調査結果
- ・公共交通に関する住民アンケート調査結果

令和6年3月

立科町地域公共交通活性化協議会

目 次

1. たてしなスマイル交通等バス利用者アンケート調査.....	1
1-1. 調査概要.....	1
1-2. 調査結果の概要.....	2
1-3. 調査結果.....	3
1-4. アンケート調査票.....	14
2. 定額タクシーチケットアンケート調査.....	15
2-1. 調査概要.....	15
2-2. 調査結果の概要.....	15
2-3. 調査結果.....	16
2-4. アンケート調査票.....	20
3. シラカバ線シャトル便アンケート調査.....	21
3-1. 調査概要.....	21
3-2. 調査結果の概要.....	21
3-3. 調査結果.....	22
4. 公共交通に関する住民アンケート調査.....	25
4-1. 調査概要.....	25
4-2. 調査結果の概要.....	26
4-3. 調査結果.....	27
4-4. アンケート調査票.....	93

1. たてしなスマイル交通等バス利用者アンケート調査

1-1. 調査概要

町内のバス利用者に対するアンケート調査を行い、利用者属性、利用目的、利用頻度、意見要望等の把握を行った。

<p>調査実施日：令和5年（2023年）9月20日（水）：幹線ルート、西・南回り線、 中仙道線（上田方面）、中仙道線（佐久方面） 21日（木）：シラカバ線、東回り線 22日（金）：丸子線、中仙道線（上田方面） 24日（日）：シラカバ線（増発便）</p> <p>調査時間：各路線の始発から最終便までの全運行便 ※中仙道線（佐久方面）は「望月バスターミナル」と「茂田井入口」を起終点として調査を実施。</p> <p>調査内容：利用者の方に直接アンケート調査を実施</p> <p>回答数：124件 （ 幹線ルート：19件、西・南回り線：8件、東回り線：4件、 シラカバ線：27件、中仙道線（佐久方面）：32件、 中仙道線（上田方面）：26件、丸子線：8件 ）</p>
--

【アンケート集計及び結果における留意事項】

- ※1：アンケート集計は、居住地、年齢などの基本属性に関わる設問については、無回答も集計対象とするが、意識や行動に関わる設問における無回答は集計対象外とした。
- ※2：構成比は、四捨五入、端数処理により100%とならないことがある。
- ※3：グラフにおける「n=」は有効回答者数を示す。なお、複数回答の場合は回答者数を「MA=」と示す。

1-2. 調査結果の概要

- 町内を運行するバスの利用者は、約 6 割が町内在住者、10 代以下が半数以上を占めている。
(P3~4)
- たてしなスマイル交通の利用者は、約 6 割が町内在住者、10 代以下が約 33%、60 歳代以上が約 45%となっている。(P3~4)
- 利用者の約 7 割は運転免許非保有者である。(P5)
- 通学（部活あり、部活なし）での利用がほぼ半数、利用頻度では毎日利用する方もほぼ半数となっており、利用者の大半は定期的な利用であると言える。たてしなスマイル交通に着目すると、通勤・通学で約 58%、次いで「買い物」が約 16%、「その他」が 11%となっている。路線別の特徴としては、幹線ルートは通勤が全体の 1/3 を占める、シラカバ線は約半数を通学が占める、東回り線は約 8 割が買い物目的での利用となっている。(P7)
- たてしなスマイル交通の利用頻度をみると、約 4 割が「毎日」と回答しており、次いで「1 週間で 1~4 日」が約 16%を占めている。路線別では、幹線ルートとシラカバ線では約 5 割が「毎日」と回答しており、西・南回り線と東回り線は曜日運行のため「1 週間で 1~4 日」が大半を占めている。(P8)
- バスの満足度（満足+やや満足）が約 66%となっている。たてしなスマイル交通では、満足度が 70%と全体より高く、西・南回り線と東回り線では 100%となっている。一方で、シラカバ線と幹線ルートでは満足度が各々約 64%、56%と全体より低くなっている。昨年度（約 79%）と比べて 9 ポイント減少している。(P9~10)
- 今後の立科町の公共交通の運行形態については「現在の運行形態の維持（定時定路線と福祉型デマンドタクシーによる運行）」が最も多くなっている。たてしなスマイル交通の利用者では、「現在の運行形態の維持（定時定路線と福祉型デマンドタクシーによる運行）」の回答が多くなっている一方で、デマンド型の導入等は回答数のうち約 4 割を占めている。(P11)
- 自由記述意見では、「親の送り迎えの負担を減らすために、大きい駅まで行く路線の本数を増やしてほしい。」、「佐久平方面との他路線との連結を考えると丁度良い時間帯のバスが無い。」、「佐久総合病院への直通便がほしい。」などの意見が寄せられた。(P12~13)

※ページ番号は、該当箇所の参照ページを示す

1-3. 調査結果

1-3-1. 居住地

- ・回答者の居住地は、立科町内が約 57%、その他が約 31%となっている。
- ・町内地区では、牛鹿地区が 20%で最も多くなっている。
- ・その他は佐久市が最も多く、次いで上田市、県外の東京都からとなっている。
- ・路線別にみると、中仙道線（佐久方面）、丸子線では町外の割合が半数を超えている。

表 回答者の居住地

住まい	回答数	構成比
立科町内	70	56.5%
その他	38	30.6%
無回答	16	12.9%
合計	124	100.0%

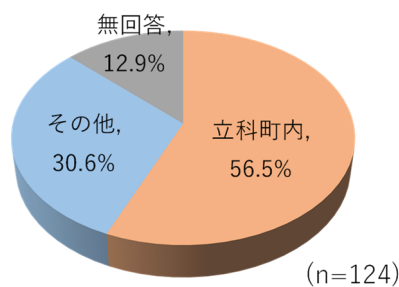


図. 回答者の居住地

表 その他の内訳

県内市町村	回答数	県外	回答数
佐久市	18	東京都	5
上田市	5	神奈川県	1
東御市	2	広島県	1
長和町	2	スリランカ	1
長野市	1	無回答	2

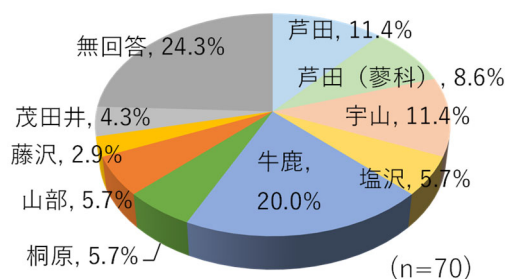


図. 回答者の居住地 (町内地区)

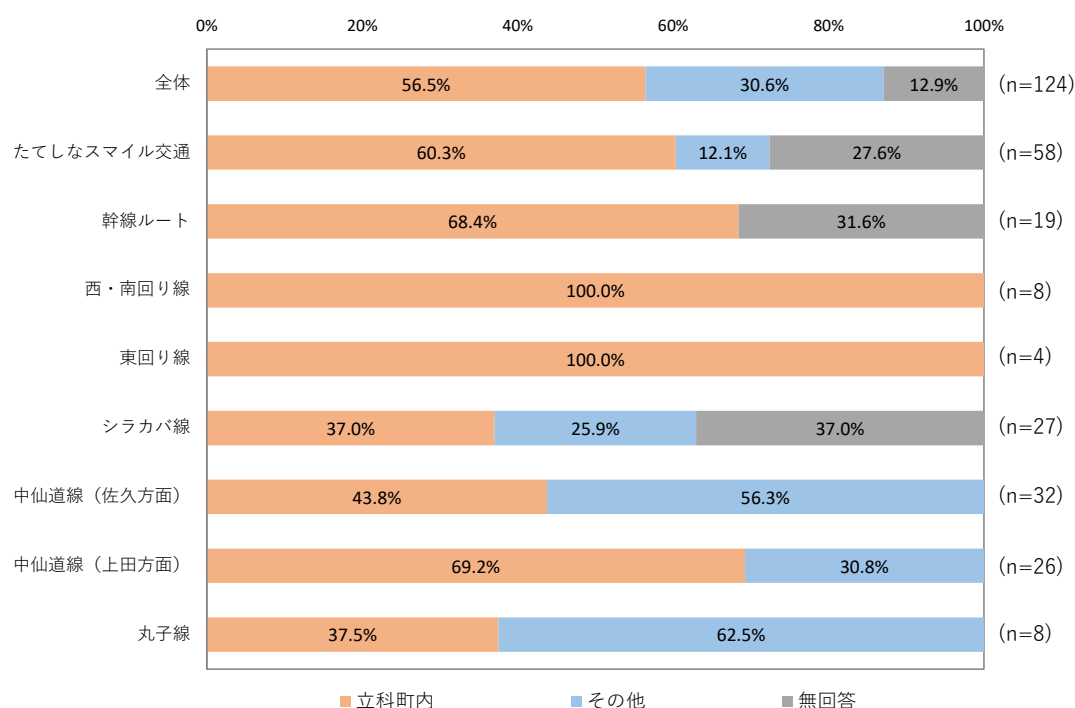


図. 居住地 (路線別)

※たてしなスマイル交通は、幹線ルート、西・南回り線、東回り線、シラカバ線の合計

1-3-2. 年代

- ・回答者の年代は、10代以下が半数以上を占めている。
- ・たてしなスマイル交通では10代以下の割合が約33%、60歳以上が約45%を占めている。
- ・中仙道線（佐久方面）や丸子線で特に10代以下の利用割合が高くなっている。

表 回答者の年代

年 齢	回答数	構成比
15歳未満	18	14.5%
15~19歳	46	37.1%
20歳代	9	7.3%
30歳代	6	4.8%
40歳代	6	4.8%
50歳代	7	5.6%
60歳代	7	5.6%
70歳代	11	8.9%
80歳以上	14	11.3%
合 計	124	100.0%

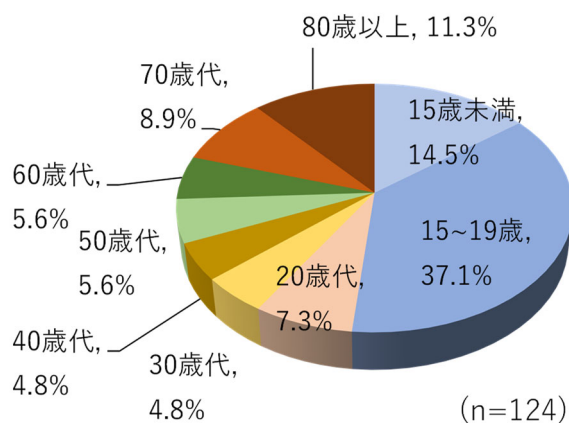


図. 回答者の年代

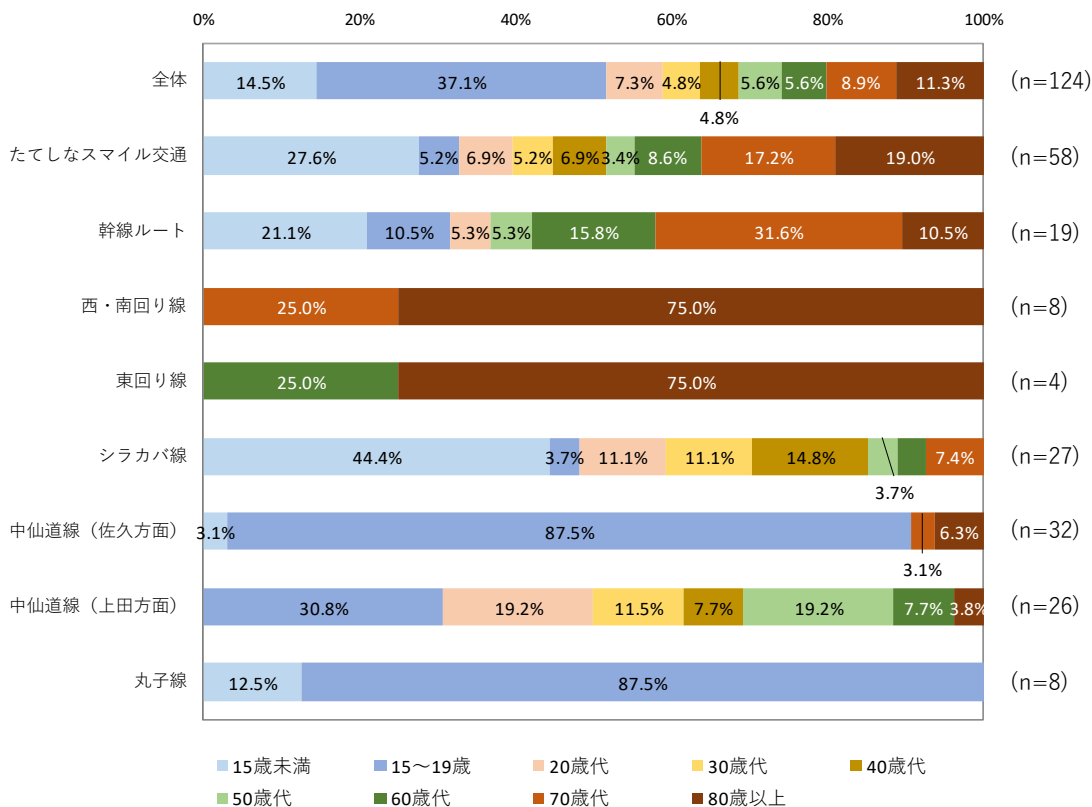


図. 年代（路線別）

1-3-3. 自動車免許の有無

- ・約 66%が「免許なし」と回答している。
- ・路線別にみると、西・南回り線や中仙道線（佐久方面）では、「免許なし」の割合が 8 割以上と高くなっている。
- ・年代別にみると、15 歳未満、15～19 歳、60 歳以上の年代で「免許なし」の割合が高くなっている。

表 運転免許の有無

運転免許の有無	回答数	構成比
免許あり	16	12.9%
免許なし	82	66.1%
無回答	26	21.0%
合計	124	100.0%

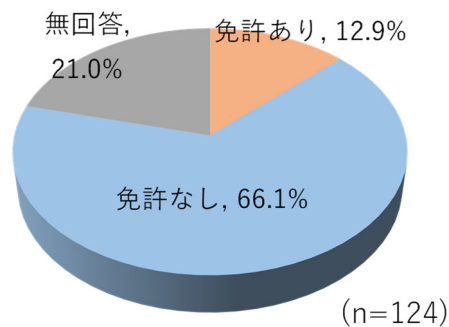


図. 運転免許の有無

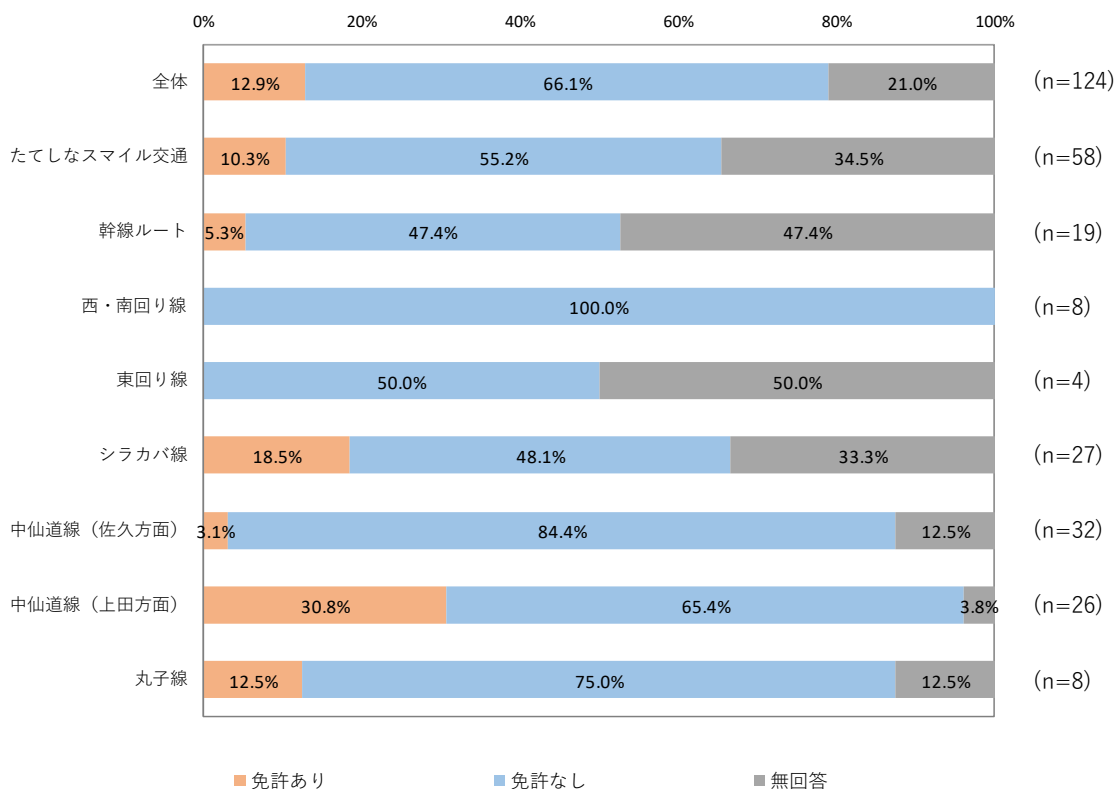


図. 運転免許の有無 (路線別)

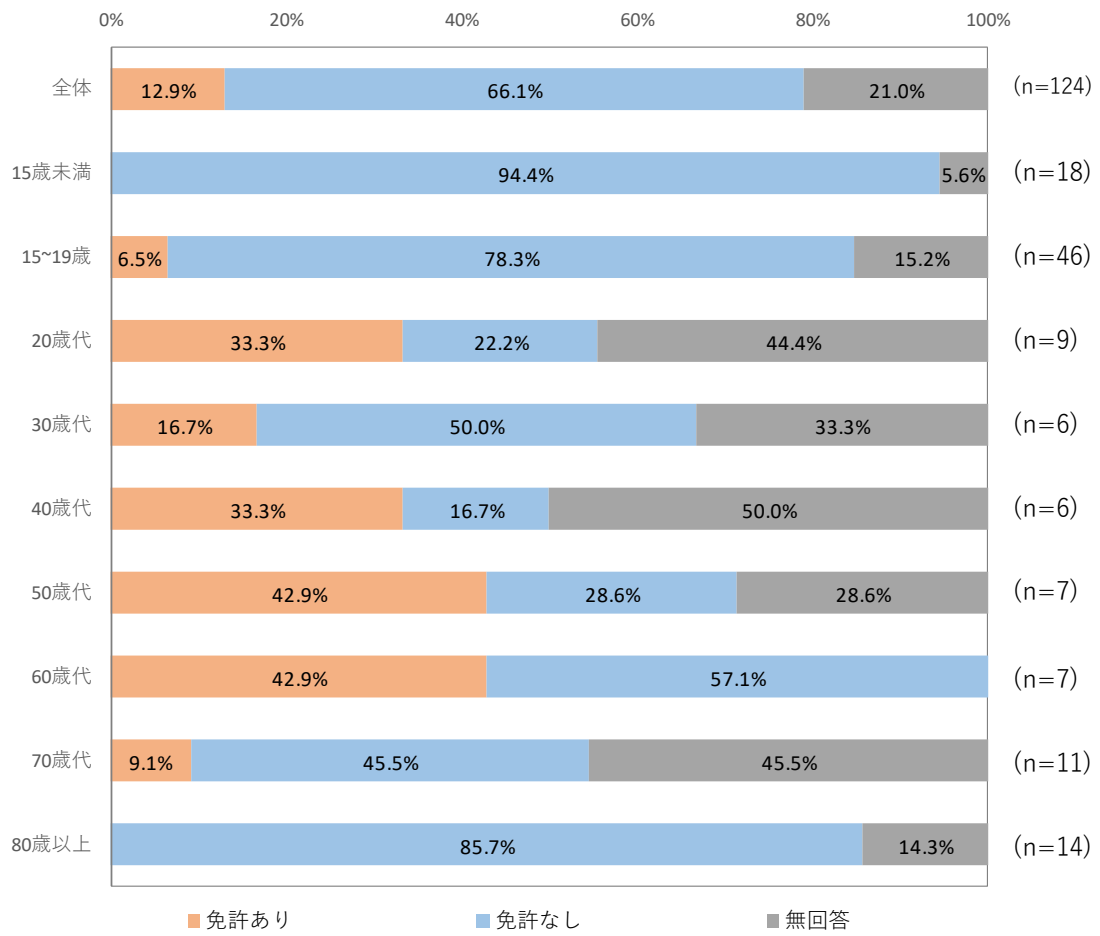


図. 運転免許の有無（年代別）

1-3-4. バスの利用目的

- ・バスの利用目的は、「通学（部活あり+部活なし）」が計約 48%で最も多くなっており、次いで「通勤」が約 23%となっている。
- ・たてしなスマイル交通の利用者は、通勤・通学で約 58%、次いで「買い物」が約 16%、「その他」が約 11%となっている。路線別の特徴としては、幹線ルートは通勤が全体の1/3、シラカバ線は約半数が通学、東回り線は約 8 割が買い物目的での利用となっている。
- ・町外を結ぶ路線では中仙道線（佐久方面）や丸子線では「通学」が約 9 割を占めている。

表 利用目的

利用目的	回答数	構成比
通勤	28	23.3%
通学（部活あり）	24	20.0%
通学（部活なし）	34	28.3%
買い物	13	10.8%
通院	5	4.2%
レジャー・娯楽	4	3.3%
銀行	0	0.0%
町役場	5	4.2%
営業・業務	0	0.0%
塾・習い事	0	0.0%
その他	7	5.8%
合計	120	100.0%

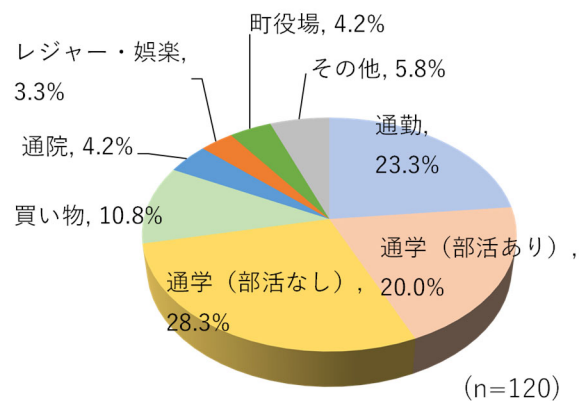


図. 利用目的

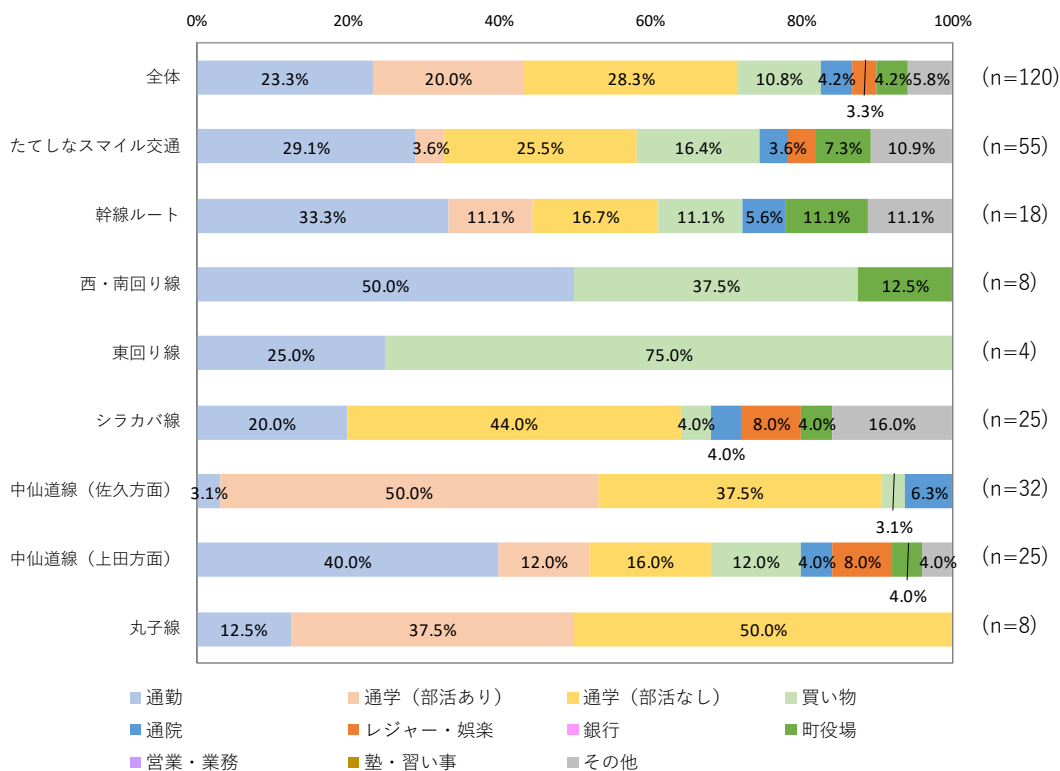


図. 利用目的（路線別）

1-3-5. バスの利用頻度

- ・利用頻度は、「毎日」が半数以上（約 53%）となっている。
- ・たてしなスマイル交通の利用者をみると、約 4 割が「毎日」と回答しており、次いで「1週間で1～4日」が約 16%を占めている。路線別では、幹線ルートとシラカバ線では約 5 割が「毎日」と回答しており、西・南回り線と東回り線は曜日運行のため「1週間で1～4日」が大半を占めている。
- ・町外を結ぶ路線では、3 路線ともに「毎日」「1週間で1～4日」が全体の約 6 割以上と高くなっている。

※「毎日」利用は1週間で5日～7日を「毎日」とした。

表 バスの利用頻度

利用頻度	回答数	構成比
毎日	66	53.2%
1週間で1～4日	17	13.7%
1か月に1～3回	10	8.1%
1年で数回	10	8.1%
無回答	21	16.9%
合計	124	100.0%

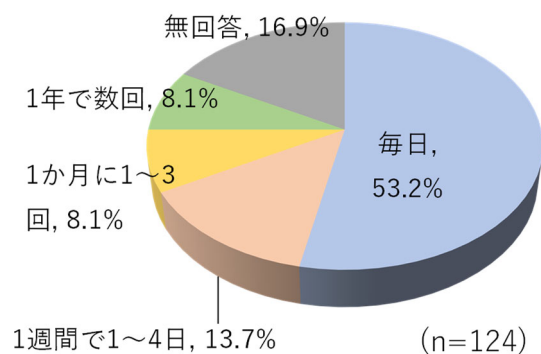


図. バスの利用頻度

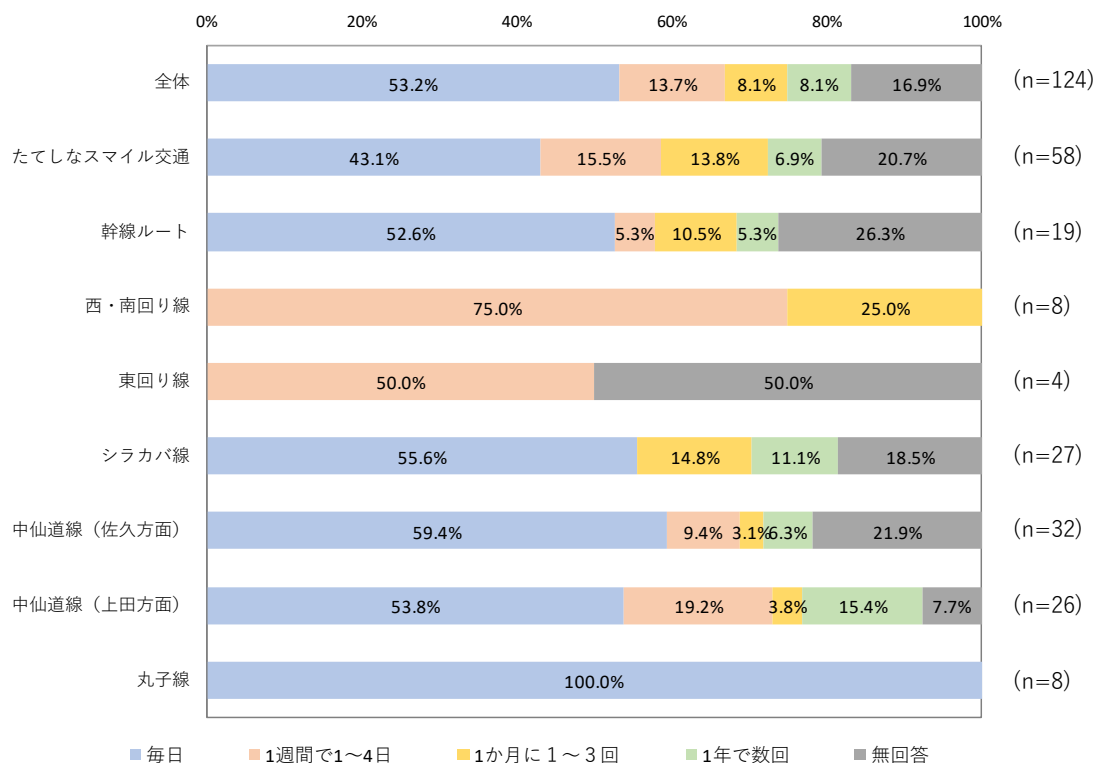


図. 利用頻度 (路線別)

1-3-6. バスの満足度について

- ・満足度は、「満足（満足+やや満足）」が約 66%となっている。
- ・たてしなスマイル交通では、満足度が 70%と全体より高く、西・南回り線と東回り線では 100%となっている。一方で、シラカバ線では約 64%、幹線ルートでは約 56%となっており、全体より低くなっている。
- ・町内居住者の満足度は 71%であり、全体よりも高くなっている。
- ・たてしなスマイル交通の満足度は昨年度（約 79%）と比較すると 9 ポイント減少している。

表 バス利用者の満足度

満足度	回答数	構成比
満足	35	32.7%
やや満足	36	33.6%
どちらでもない	28	26.2%
やや不満	8	7.5%
不満	0	0.0%
合計	107	100.0%

無回答

17

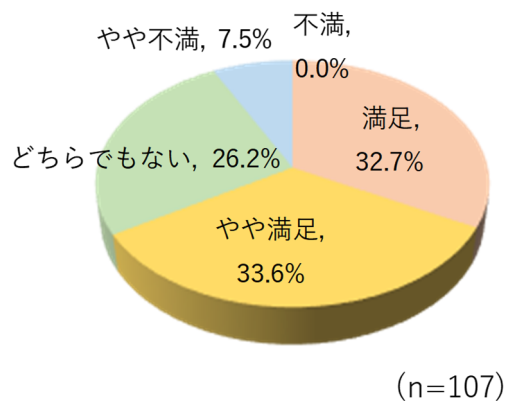


図. バス利用者の満足度

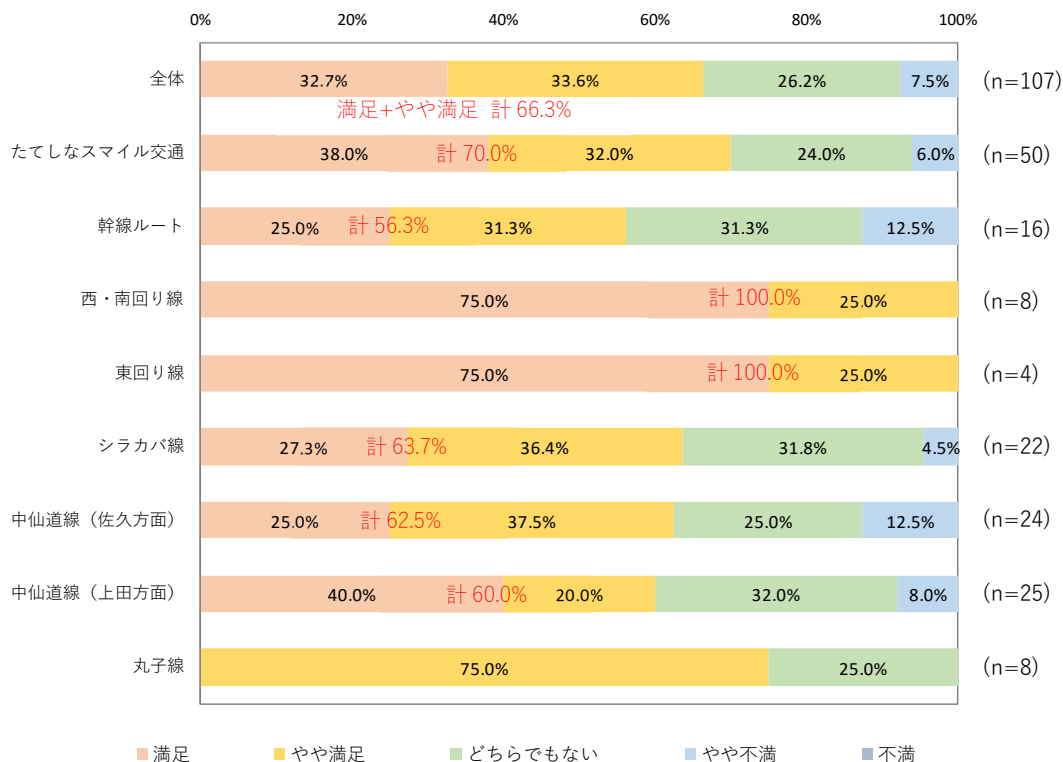


図. バス利用者の満足度（路線別）

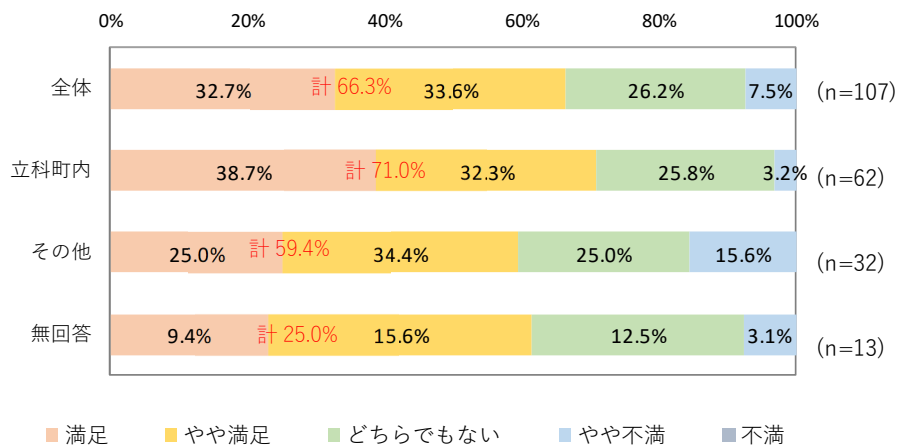


図. バス利用者の満足度（地域別）

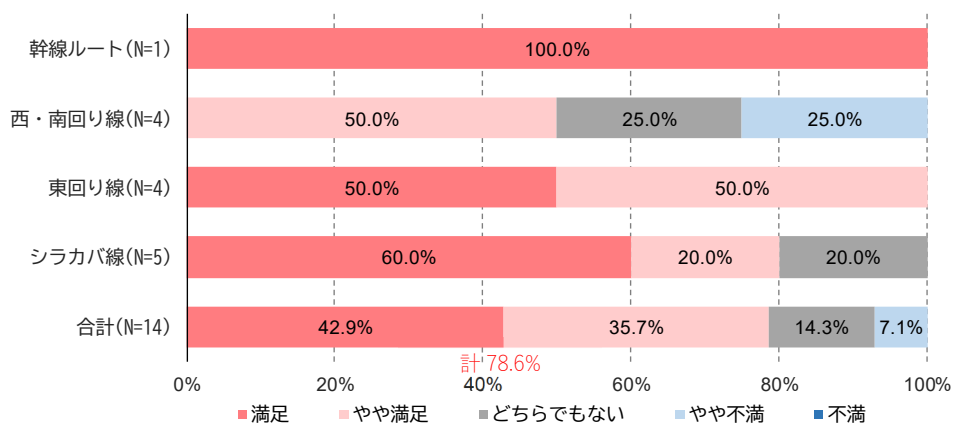


図. 昨年度調査の満足度

1-3-7. 今後の立科町の公共交通の運行形態について

- ・「現在の運行形態の維持（定時定路線と福祉型デマンドタクシーによる運行）」が最も多くなっている。
- ・たてしなスマイル交通の利用者では、「現在の運行形態の維持（定時定路線と福祉型デマンドタクシーによる運行）」の回答が多くなっている一方で、デマンド型の導入等は回答数のうち約4割を占めている。

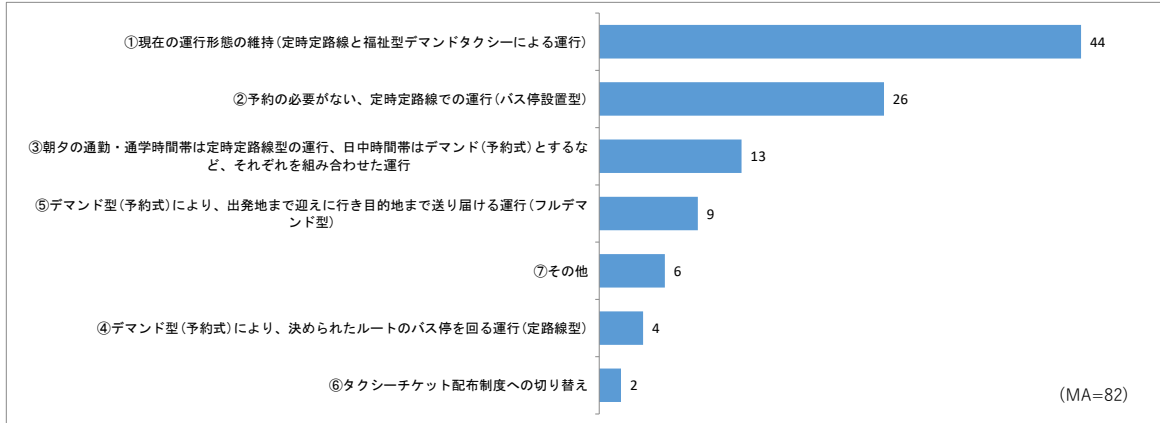


図. 今後の立科町の公共交通の運行形態について

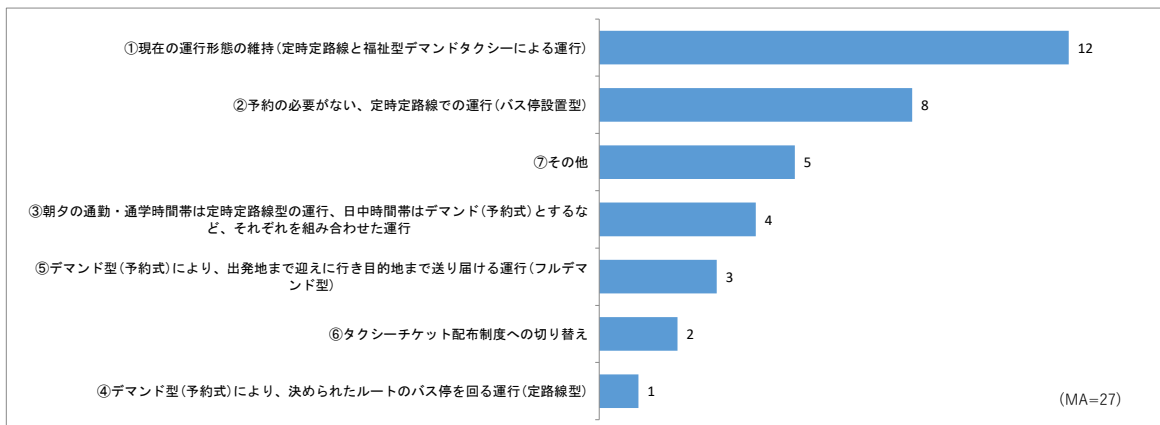


図. 今後の立科町の公共交通の運行形態について（たてしなスマイル交通利用者）

表 今後の公共交通の運行形態について（たてしなスマイル交通利用者）

今後の公共交通の運行形態	回答数	構成比
現在の運行形態（①・②）	20	57.1%
デマンド型の導入等（①・②以外）	15	42.9%
回答数計	35	100.0%

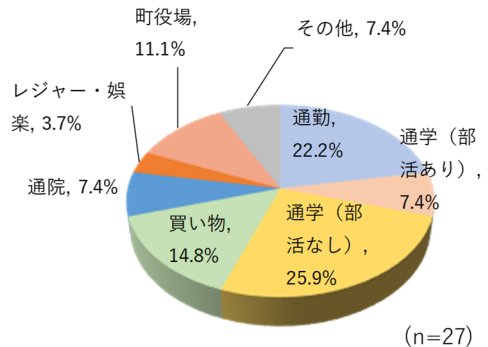
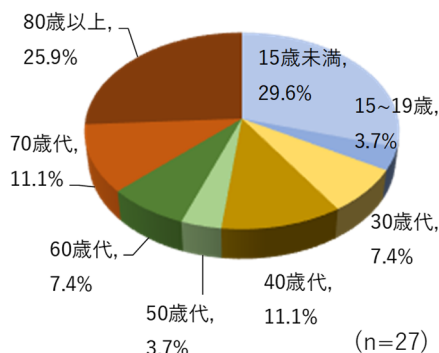


図. 今後の公共交通の運行形態の回答者の属性(年代(左)、バス利用目的(右))

1-3-8. 自由記述意見

- ・ 大きい駅まで行く路線の本数を増やしてほしい。親の送り迎えの負担を減らせる。通学も休みの日も。(住まい無回答、15～19歳)
- ・ 浅間総合病院までは紹介してもらえるが、皆セカンドオピニオンができる事は知っているので、佐久総合病院へ行きたい。佐久総合病院へは、乗り換えやタクシーなど面倒で迷っている。(住まい無回答、70歳代)
- ・ 佐久総合病院への直通がほしい。交通機関利用は買い物か通院の為。予約式のタクシー使いたいが頼み方がよくわからない。知人と一緒に一度乗った事がある。予約が一杯で結局取れないという事になるのでしょうか。(立科町内、80歳以上)
- ・ 乗る人が少ない時間帯は1時間2時間に1本でも良いから、〇時〇分→〇部分ここを同じ時刻にしてほしい。いつもデイケアか他の線に乗る、いくつもバスがきてややこしい。(立科町内、80歳以上)
- ・ いつものバスに乗れば安心だからいつものバスを待っていたが、「このバスでも行くよ」と誘われたから乗ってみた。用がある時しか乗らない。待っていればいつものバスが来るから。買い物は生協でもできるが、週に1回位は出歩かなくてはと思う。(立科町内、70歳代)
- ・ 車が無い、免許がない者は、土日祝ほど動きたいので、定刻運行してほしい。10月・11月の連休にも増便してほしいです。女神湖の郵便局は土日祝おろせない→役場の隣の郵便局はATMがある。(立科町内、60歳代)
- ・ 帰りもツルヤへ回してほしい。(立科町内、70歳代)
- ・ 作業所に通所されている方、通所者さん同士の会話が日常の楽しみ。(住まい無回答、70歳代)
- ・ デマンドがよくわからない(立科町内、15歳未満)
- ・ 通所の方(中央公民館)(立科町内、50歳代)
- ・ 本数を増やしてほしい。ツルヤ、しまむら、コメリで買い物したものを運んでほしい。(立科町内、70歳代)
- ・ 1週間で3日しか運行していないので、もっと増やしてほしい。土日曜日も運行してほしい。(町のイベントが土日なので行けない)(立科町内、70歳代)
- ・ 車が乗れないので助かります。(立科町内、80歳以上)
- ・ 柳沢医院(立科町内、80歳以上)
- ・ 意見を言っても通らないから言わない(立科町内、60歳代)
- ・ みんなとバス楽しい(住まい無回答、15歳未満)
- ・ 佐久平方面との他路線との連結を考えると丁度良い時間帯のバスが無い。←昼間の時間帯も通っていればお客様も増えると思う。絶対に無くさないでほしい。タクシー一定額を利用して頂いていますが、駅を大病院以外の小さな病院、歯医者などにも便利に使いたい。(住まい無回答、40歳代)
- ・ 若い人のなりてがないから、本数を減らすしかない。給料の割に長時間だし、色んなお客さんで気を使うし…。(その他、20歳代)

-
- ・ 希望や意見は色々あるけど言いにくい…。お役所の事情があってやって下さっている事だと思っから…。(住まい無回答、40 歳代)
 - ・ スマイル交通が利用できてよかったです。平日もあれば助かります。高齢者は平日が良いけれど難しいですね。(その他、70 歳代)
 - ・ 登山のため利用できて助かりました。ありがとうございます。(その他、40 歳代)
 - ・ **MaaS** の導入が最良か。他の施策と併せ、デジタル田園都市プロジェクトや類似の補助金制度を研究し、その一環として自動運転等も考慮しつつ導入する方がよい。アンケートをとって下さり感謝しています。よくバスの中で本数が少なく、「これではもうこの辺に来られなくなるね」と乗客同士話します。(その他、60 歳代)
 - ・ いつもこのバス(立科町内、80 歳以上)
 - ・ 19 時以降の中込→立科のバスを運行してほしい。(立科町内、15~19 歳) 2 件
 - ・ 乗れる時間を増やしてほしい。(その他、15~19 歳)
 - ・ 学校のある日は毎日利用していますが、QR コード式の回数券になってから乗り降りが大変だなと感じました。(その他、15~19 歳)
 - ・ バスの本数を増やしてほしい。(立科町内、15~19 歳)
 - ・ できれば 19 時台のバスを運行してもらえれば有り難い。(立科町内、15~19 歳)
 - ・ バスの本数を増やしてほしい。(立科町内、15~19 歳)
 - ・ 大屋駅での電車に接続できるような時刻表の変更。しなの鉄道のダイヤ改正に合っていないため。(その他、50 歳代)
 - ・ 帰りにもツルヤを回ってほしい。(立科町内、60 歳代)
 - ・ 電車が 大屋駅 11:58 着でバスが 12:00 発と乗り換えに 2 分しかないのでせめて 5 分~10 分くらいの時間がほしい。(その他、30 歳代)
 - ・ 可能な限り、大屋駅でしなの鉄道と接続するようにお願いいたします。(その他、50 歳代)
 - ・ 丸子方面にも (ツルヤ方面) バスがきてほしい。(その他、15~19 歳)

2. 定額タクシーチケットアンケート調査

2-1. 調査概要

町内の定額タクシーチケット利用者に対するアンケート調査を行い、利用者属性、利用目的、利用頻度、意見要望等の把握を行った。

調査実施期間：令和5年（2023年）8月3日（木）～9月3日（日）の1か月間

調査内容：アンケート票を車内に留め置き調査を実施

回答数：19件

【アンケート集計及び結果における留意事項】

※1：アンケート集計は、居住地、年齢などの基本属性に関わる設問については、無回答も集計対象とするが、意識や行動に関わる設問における無回答は集計対象外とした。

※2：構成比は、四捨五入、端数処理により100%とならないことがある。

※3：グラフにおける「n＝」は有効回答者数を示す。

2-2. 調査結果の概要

■回答者の約6割が町内居住者であり、約6割が60歳以上であった。（P16）

■単独での利用が約7割を占めている。（P17）

■利用目的は、「買い物」、「レジャー・娯楽」がそれぞれ約3割、「通院」が約2割となっている。（P17）

■利用頻度は「1か月に数回程度」が約6割となっている。（P18）

■乗車地は「立科町役場前」、降車地は「佐久平駅」がそれぞれ最も多くなっている。（P18）

■タクシーの運賃については、約半数が「安い」と回答しており、約4割は「適正」と回答している。（P19）

※ページ番号は、該当箇所の参照ページを示す

2-3. 調査結果

2-3-1. 居住地

- ・回答者の居住地は、立科町内が約 58%、その他が約 42%となっている。
- ・その他では東京都が 6 名、他 2 名は無回答であった。

表 回答者の居住地

住まい	回答数	構成比
立科町内	11	57.9%
その他	8	42.1%
無回答	0	0.0%
合計	19	100.0%

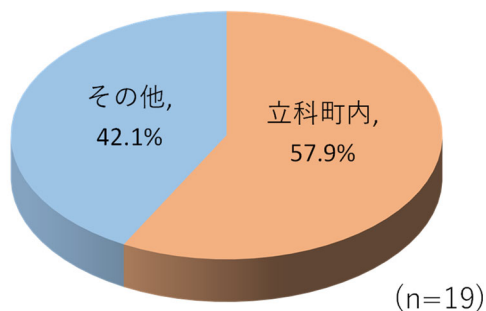


図. 回答者の居住地

2-3-2. 年齢

- ・回答者の年齢は、60 歳以上が約 58% (60 歳代 15.8%、70 歳代 26.3%、80 歳以上 15.8%) となっている。

表 回答者の年齢

年齢	回答数	構成比
15歳未満	0	0.0%
15～19歳	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	4	21.1%
40歳代	2	10.5%
50歳代	2	10.5%
60歳代	3	15.8%
70歳代	5	26.3%
80歳以上	3	15.8%
無回答	0	0.0%
合計	19	100.0%

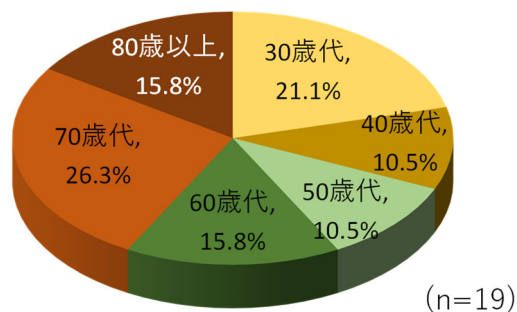


図. 回答者の年齢

2-3-3. 乗車人数

・約 74%が 1 名で乗車しており、残る約 26%は 2 名または 3 名で乗車している。

表 回答者の乗車人数

乗車人数	回答数	構成比
1名	14	73.7%
2名	3	15.8%
3名	2	10.5%
4名	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	19	100.0%

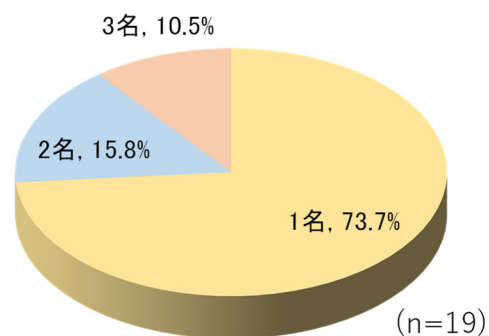


図. 回答者の乗車人数

2-3-4. 利用目的

・利用目的は、「買い物」と「レジャー・娯楽」が同数で約 28%、「通院」が約 17%となっている。

表 利用目的

主な目的	回答数	構成比
買い物	5	27.8%
通院	3	16.7%
通学	0	0.0%
仕事	1	5.6%
レジャー・娯楽	5	27.8%
私用（役所、郵便局、銀行など）	1	5.6%
その他	3	16.7%
合計	18	100.0%

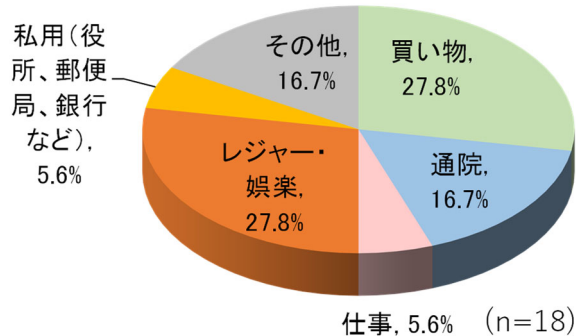


図. 利用目的

2-3-5. 利用頻度

・利用頻度は「1か月に数回程度」が約56%で最も多く、次いで「1年に数回程度」が約39%となっている。

表 利用頻度

利用頻度	回答数	構成比
1週間に2～3回程度	0	0.0%
1か月に数回程度	10	55.6%
1年に数回程度	7	38.9%
本日たまたま	1	5.6%
合計	18	100.0%

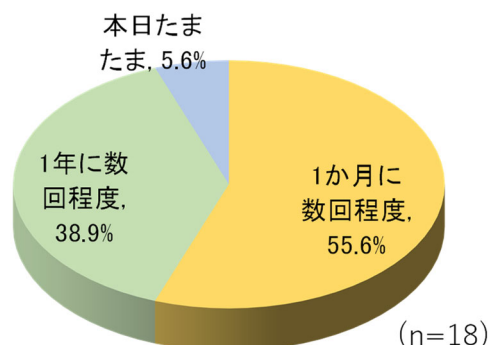


図. 利用頻度

2-3-6. 乗車地・降車地

・乗車地は、「立科町役場バス停」が約42%で最も多く、降車地では、「佐久平駅」が約58%と最も多くなっている。

表 乗車地

乗車地	回答数	構成比
立科町役場前バス停	8	42.1%
その他バス停	7	36.8%
佐久平駅	4	21.1%
浅間総合病院	0	0.0%
佐久医療センター	0	0.0%
合計	19	100.0%

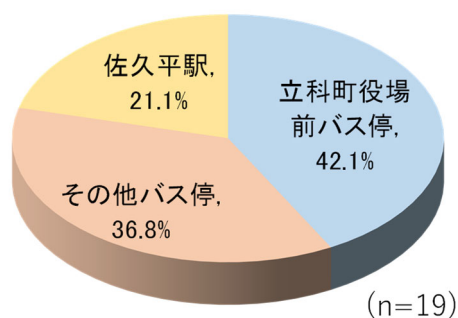


図. 乗車地

表 降車地

降車地	回答数	構成比
立科町役場前バス停	3	15.8%
その他バス停	1	5.3%
佐久平駅	11	57.9%
浅間総合病院	4	21.1%
佐久医療センター	0	0.0%
合計	19	100.0%

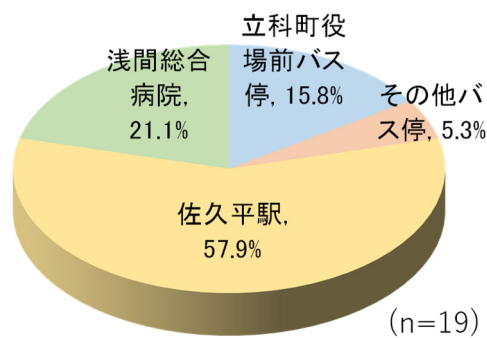


図. 降車地

2-3-7. タクシー定額チケットの運賃について

- ・タクシー定額チケットの運賃については、約半数が「安い」と回答しており、約4割は「適正」と回答している。

表 タクシー定額チケットの運賃について

タクシー運賃について	回答数	構成比
高い	0	0.0%
やや高い	1	5.3%
適正	8	42.1%
やや安い	0	0.0%
安い	10	52.6%
合計	19	100.0%

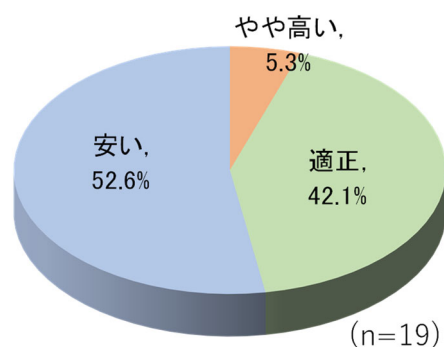


図. タクシー定額チケットの運賃について

2-3-8. 公共交通に関するご意見・ご要望

- ・とても便利です。(立科町、30歳代)
- ・安く利用できて嬉しいです。(立科町、80歳以上)
- ・大変安価で便利です。ありがとうございます。(その他、70歳代)
- ・1週間で2回は使いにくい。(その他、60歳代)
- ・すごく便利で助かります。(その他、70歳代)
- ・本当にいつも助かっています。ありがとうございます。(立科町、40歳代)
- ・バスがなくなってしまったので、頻度は低いが、継続してほしい。(その他、40歳代)
- ・スマイル交通シラカバ線は、利用客が少なくても廃止しないで下さい。望月ハイヤーの定額タクシーも廃止しないでください。(立科町、70歳代)

2-4. アンケート調査票

たてしなタクシー定額チケット利用者アンケート調査票

(実施主体：立科町地域公共交通活性化協議会)

回答は、該当する箇所を○で囲んでください。カッコ内は具体的な内容をお書きください。

問1 あなたのお住まい、年齢、何名で乗車されたかを教えてください。

お住まい	①立科町内（ 地区）	②その他（ ）			
年 齢	①15歳未満	②15～19歳	③20歳代	④30歳代	⑤40歳代
	⑥50歳代	⑦60歳代	⑧70歳代	⑨80歳以上	
乗車人数	①1名	②2名	③3名	④4名	

問2 バスをご利用になられた主な目的を教えてください。

- ① 買い物 ② 通院 ③ 通学 ④ 仕事 ⑤ レジャー・娯楽
⑥ 私用(役場、郵便局、銀行など) ⑦ その他()

問3 たてしなタクシー定額チケットをご利用になれる頻度はどのくらいですか。

- ① 1週間に2～3回程度 ② 1か月に数回程度 ③ 1年に数回程度
④ 本日もたまたま ⑤ その他()

問4 本日の乗車地・降車地を教えてください。

- 乗車地 ① 立科町役場前バス停 ② その他バス停()
 ③ 佐久平駅 ④ 浅間総合病院 ⑤ 佐久医療センター
降車地 ① 立科町役場前バス停 ② その他バス停()
 ③ 佐久平駅 ④ 浅間総合病院 ⑤ 佐久医療センター

問5 タクシーの運賃についてどう思われますか。

- ① 高い ② やや高い ③ 適正 ④ やや安い ⑤ 安い

問6 その他立科町の公共交通に関するご意見・ご要望があればご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。回答されたアンケート調査票は降車時に運転手へお渡しください。

3. シラカバ線シャトル便アンケート調査

3-1. 調査概要

夏期の観光シーズンに運行されるシラカバ線シャトル便利用者利用者に対するアンケート調査を行い、利用者属性、利用目的地、利用頻度等の把握を行った。

調査実施期間：令和5年（2023年）8月5日（土）～9月24日（日）間の土・日・祝日計18日間
調査内容：調査依頼文（QRコード入）を車内配布（Googleフォームを用いたWeb回答）
回答数：3件

【アンケート集計及び結果における留意事項】

- ※1：アンケート集計は、居住地、年齢などの基本属性に関わる設問については、無回答も集計対象とするが、意識や行動に関わる設問における無回答は集計対象外とした。
- ※2：構成比は、四捨五入、端数処理により100%とならないことがある。
- ※3：グラフにおける「n＝」は有効回答者数を示す。

3-2. 調査結果の概要

- 回答者の居住地は、神奈川県が2名、東京都が1名となっている。（P22）
- 同行者人数は、単独が2名、2人が1名となっている。（P22）
- 白樺高原を訪れた際の経由場所は、「茅野駅」、「自家用車や高速バスで直接来訪」、「上諏訪駅・車山高原」がそれぞれ1名となっている。（P22）
- シャトル便に乗車した場所までの交通手段は、「施設などの送迎サービス」、「徒歩」、「登山」がそれぞれ1名となっている。（P23）
- 立ち寄った観光地は、「蓼科牧場」が3名、「白樺湖・白樺リゾート」がそれぞれ2名、「長門牧場」が1名となっている。（P23）
- シャトル便の利用回数は、1回が2名、2回が1名となっている。（P24）
- 全員が次回も「利用したい」と回答している。（P24）

※ページ番号は、該当箇所の参照ページを示す

3-3. 調査結果

3-3-1. 居住地

・回答者の居住地は、神奈川県が2名、東京都が1名となっている。

表 回答者の居住地

住まい	回答数	構成比
東京都	1	33.3%
神奈川県	2	66.7%
無回答	0	0.0%
合計	3	100.0%

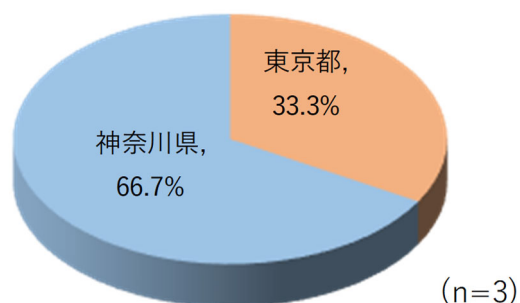


図. 回答者の居住地

3-3-2. 同行者人数

・同行者人数は、単独が2名、2人が1名となっている。

表 同行者人数

同行者人数	回答数	構成比
1人	2	66.7%
2人	1	33.3%
3人	0	0.0%
4人	0	0.0%
5人以上	0	0.0%
合計	3	100.0%

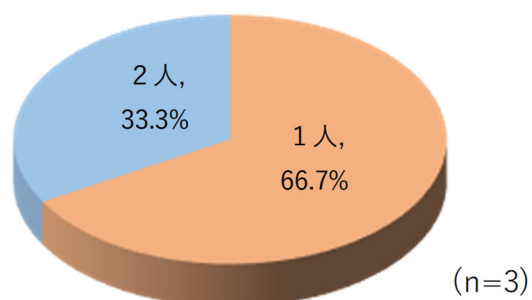


図. 同行者人数

3-3-3. 白樺高原を訪れた際の経由場所

・「茅野駅」、「自家用車や高速バスで直接来訪」、「上諏訪駅・車山高原」がそれぞれ1名となっている。

表 経由場所

経由場所	回答数	構成比
茅野駅（中央線）	1	33.3%
佐久平駅（北陸新幹線）	0	0.0%
自家用車や高速バスで直接来訪	1	33.3%
分からない	0	0.0%
その他（上諏訪駅、車山高原）	1	33.3%
合計	3	100.0%

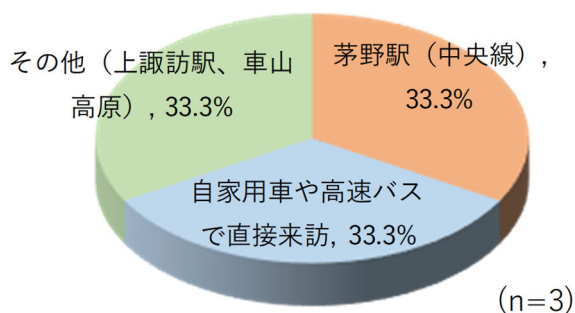


図. 経由場所

(1) シャトル便に乗車した場所までの交通手段

・交通手段は、「施設などの送迎サービス」、「徒歩」、「登山」がそれぞれ 1 名となっている。

表 交通手段

交通手段	回答数	構成比
路線バス	0	0.0%
自家用車	0	0.0%
高速バス	0	0.0%
施設などの送迎サービス	1	33.3%
タクシー	0	0.0%
その他（徒歩、登山）	2	66.7%
合計	3	100.0%

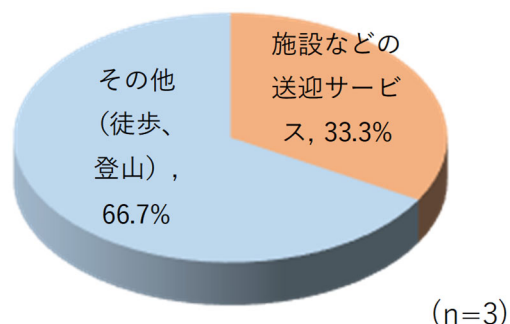


図. 交通手段

3-3-4. 立ち寄った観光地

・「蓼科牧場」が 3 名、「白樺湖・白樺リゾート」がそれぞれ 2 名、「長門牧場」が 1 名となっている。

表 立ち寄った観光地

立ち寄り地点	回答数
蓼科牧場	3
白樺湖・白樺リゾート	2
御泉水自然園	0
蓼科山	0
女神湖	2
長門牧場	1
芦田宿周辺	0
その他	0
合計	8

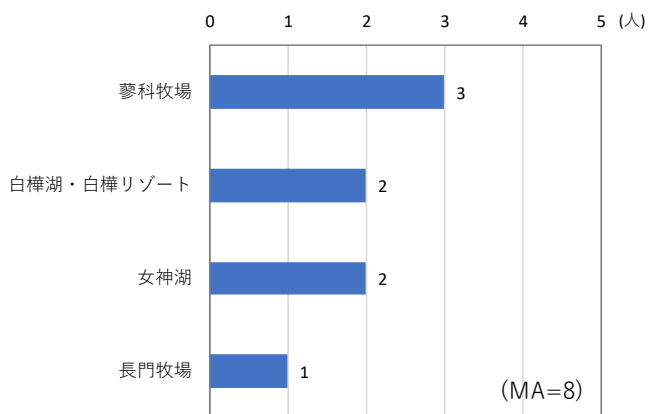


図. 立ち寄った観光地

3-3-5. シャトル便の利用回数

・1回が2名、2回が1名となっている。

表 シャトル便の利用回数

シャトル便利用回数	回答数	構成比
1回	2	66.7%
2回	1	33.3%
3回	0	0.0%
4回	0	0.0%
5回以上	0	0.0%
合計	3	100.0%

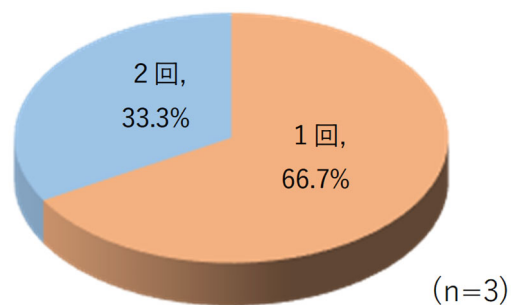


図. シャトル便の利用回数

3-3-6. 次回の利用希望

・全員が次回も「利用したい」と回答している。

表 次回の利用希望

次回の利用希望	回答数
利用したい	3
利用しないと思う	0
分からない	0
その他	0

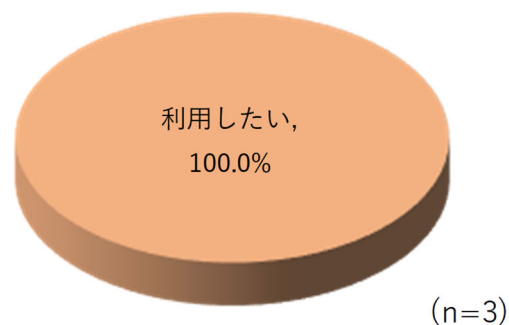


図. 次回の利用希望